



六月(小)

みなづき
水無月

心宿

六月六日芒種の節より
月命庚午七赤金星の月
暗剣殺西の方

旧四月小
五月大

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	目出入	月出入	満潮	干潮
1日	土	つちのとみ	四緑	電波の日、写真の日、己巳、不成就日、万国郵便連合加盟記念日、気象記念日、相模川他鮎解禁	旧四月小	廿六	先勝	たつ	柳	●	4.27 18.51	3.06 16.29	16.13	21.58
2日	日	かのをうま	三碧	横浜開港記念日、大つち、危険物安全週間(8日迄)		廿九	友引	のぞく	星	月とく	4.26 18.52	3.40 17.31	16.54	9.48
3日	月	かのをひつじ	二黒	●朔一九時〇二分	旧五月大	朔	大安	みつ	張	大みょう	4.26 18.52	4.19 18.36	10.22	22.37
4日	火	みづのえさる	一白	菌と口の健康週間、伝教大師忌		二	赤口	たいら	翼	神よし	4.26 18.53	5.04 19.40	17.35	23.16
5日	水	みづのとてり	九紫	世界環境デー、熱田神宮祭、宇治県神社祭、鶴岡大山大祭		三	先勝	さだん	軫	十し	4.26 18.54	5.55 20.42	18.18	12.15
6日	木	きのえいぬ	八白	芒種八時〇六分		四	友引	さだん	角		4.25 18.54	6.54 21.39	19.50	12.58
7日	金	きのと	七赤	広島とうかさ大祭(9日迄)、旧端午、東京日枝神社山王祭(17日迄)、不成就日		五	先負	とる	亢	ちう日	4.25 18.55	7.58 22.31	20.40	13.43
8日	土	ひのえ	六白	東京鳥越神社例大祭(9日迄)、チャグチャグ馬コ		六	佛滅	やぶる	氏	●	4.25 18.55	9.06 23.15	21.33	14.33
9日	日	ひのと	五黄			七	大安	あやぶ	房	大みょう	4.25 18.56	10.15 23.55	22.29	15.29
10日	月	つちのえとら	四緑	●上弦一四時五九分、時の記念日、小つち、三隣亡		八	赤口	なる	心	母倉	4.25 18.56	11.23 —	23.25	16.33
11日	火	つちのと	三碧	入梅一三時三二分		九	先勝	おさん	尾	百事よし	4.25 18.57	12.29 0.31	22.29	17.46
12日	水	かのを	二黒			十	友引	ひらく	箕	天おん	4.25 18.57	1.05 0.31	21.33	18.57
13日	木	かのを	一白	一粒万倍日		十一	先負	とる	斗	十し	4.25 18.57	1.38 1.05	20.40	20.00
14日	金	みづのえさる	九紫	大阪住吉大社御田植神事、一粒万倍日		十二	佛滅	たつ	牛	大みょう	4.25 18.58	15.45 1.11	15.35	20.55

春から夏への季節の変わり目がこの月で、太平洋側の高気圧が次第に発達し、日本列島に沿う気圧の谷が通ったり、その谷間に低気圧が通ったり、不連続線が生じたりして雨が降り続くのである。十日前後には「入梅」がある。これは太陽が黄経八十度に入梅とか梅雨の「梅」は、ちようどこのころ梅の実が熟することから出ている。

高温多湿であるが、気圧の谷に入つたとき、妙に底冷えのすることがある。食中毒が多発するものこの月である。細菌の繁殖に最適な気候であり、寒暖に差がある季節だからということがある。たまの晴れ間を十分活用し、風通し、家具、食器類などの手入れをし、梅雨どきを無事に過ごすよう心掛けよう。

【冠】この月に限ってと言う行事は別になので、出

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	目出入	月出入	満潮	干潮
15日	土	つちのえとら	八白	北海道神宮祭、弘法大師誕生会、不成就日		十三	大安	のぞく	女	天おん	4.25 18.58	16.50 2.48	16.25	9.37
16日	日	きのえさる	七赤	父の日、柏崎えんま市、十方ぐれ入り		十四	赤口	みつ	虚	神よし	4.25 18.59	17.53 3.27	17.09	22.31
17日	月	きのと	六白	●望一七時三一分、伊勢神宮月次祭、奈良率川百合祭、興教大師誕生会		十五	先勝	たいら	危	神よし	4.25 18.59	18.53 4.10	17.49	23.13
18日	火	ひのえいぬ	五黄	海外移住の日		十六	友引	さだん	室	月とく	4.25 18.59	19.48 4.57	18.27	23.52
19日	水	ひのと	四緑	桜桃忌		十七	先負	とる	壁	大みょう	4.25 19.00	20.39 5.48	19.02	12.10
20日	木	つちのえとら	三碧	京都鞍馬寺竹伐り会式		十八	佛滅	やぶる	奎	●	4.25 19.00	21.23 6.43	19.37	12.45
21日	金	つちのと	二黒			十九	大安	あやぶ	婁		4.25 19.00	22.03 7.39	20.12	13.19
22日	土	かのをとら	一白	夏至〇時五四分、三隣亡		廿	赤口	なる	胃	母倉	4.26 19.00	22.38 8.35	20.48	13.53
23日	日	かのを	九紫	沖縄慰霊の日、オリンピックデー、不成就日		廿一	先勝	おさん	昂	母倉	4.26 19.00	23.09 9.31	21.26	14.29
24日	月	みづのえとら	八白	東京芝愛宕千日詣り、清正公忌		廿二	友引	ひらく	畢	大みょう	4.26 19.01	23.38 10.26	22.08	15.08
25日	火	みづのと	七赤	●下弦一八時四六分、天一天上、一粒万倍日		廿三	先負	とる	觜	十し	4.26 19.01	24.02 11.22	22.54	15.57
26日	水	きのえさる	六白	国連憲章調印記念日、天しや、一粒万倍日		廿四	佛滅	たつ	参	よろづ	4.27 19.01	24.13 12.18	23.44	17.04
27日	木	きのえとら	五黄			廿五	大安	のぞく	井	大みょう	4.27 19.01	24.27 13.14	24.02	18.23
28日	金	ひのえさる	四緑	貿易記念日		廿六	赤口	みつ	鬼	神よし	4.27 19.01	24.41 14.13	24.13	19.34
29日	土	ひのと	三碧			廿七	先勝	たいら	柳	神よし	4.28 19.01	25.11 15.14	24.30	20.34
30日	日	つちのえいぬ	二黒	大はらい、夏越祭		廿八	友引	さだん	星		4.28 19.01	25.42 16.18	25.02	21.26

産より初誕生日まで行事を整理してみよう。

この世に生をうけた新生児は、産声(うぶごえ)をあげ、産湯につかり、産衣(うぶぎ)をつまみ、親戚縁者に無事出産を通知したり、お祝いに餅をついたりする。

生まれて三日目は「三つ目祝い」、五日目を「五夜目」といって祝宴を張るところがある。七日目は「お七夜」といって新生児の名前を披露する儀式がある。出生届けは、生まれた日から十四日以内に市区町村役所に提出する。

生後三十日前後(土地により多少違ふには「お宮詣」といって氏神様の所にいってお祓(はらい)をしてもらう。百二十日前後の「お食初め」を終えて、一年目の誕生祝いになるのである。

【祭】第三日曜日は「父の日」、五月の「母の日」と同様、父の働きあつての自分と思えば、父へも感謝をささげるべきであらう。

二十一日前後は「夏至」。文字からいえば夏の真つ盛り、北半球では昼間が最も長く、夜が短い日である。